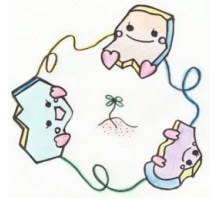


東北復興 PSW にゆうす

被災地における障害福祉事業所の販路拡大支援事業がはじまりました！

平成27年9月より（公社）日本精神保健福祉士協会のHPにて被災地の事業所を応援する標記事業が始まりました。今回は宮城県の「きらら女川」に続き、同事業にも参加される岩手県の「あすなるホーム」の所長の西條一恵さんのメッセージをお届けします。



【あすなるホームのこれまでの歩みを教えてください】

あすなるホームは、知的障がいを抱えた家族の方からの「障がいがあっても働く場がほしい」という声に応じて、「あすなる親の会」が平成6年に一步を踏み出しました。その後四苦八苦しながらも一歩ずつ進み、以下の過程を経て現在に至っています。

- 平成 9年 4月 小規模作業所(重度)認可
- 10年 4月 小規模作業所(軽度)可
- 13年 4月 法人設立準備開始
- 15年 9月 社会福祉法人燦々会設立
- 16年 4月 小規模通所授産施設開始(知的)
- 18年 10月 就労支援事業開始
(就労継続支援B型・就労移行支援)
- 23年 3月 東日本大震災・避難所指定
(施設一部損壊・駐車場に大亀裂)
- 4月 一部地域利用再開
- 5月 全地域利用再開
- 11月 共同生活援助事業開始(GH)
(福祉型仮設住宅にて)
- 24年 3月 就労移行支援事業廃止
- 26年 7月 相談支援事業開始
- 11月 就労移行支援事業再開

【震災前後で変わったことはありますか】

震災直後は、いろんな不便や困難がありましたが、その後特に次のことが大きく変わりました。

1 事業の拡大

利用者の住宅が流されて生活の安定が困難な方がいたので、共同生活援助事業を開始しました。現在7名の方が暮らしています。

計画相談が必要になったことを機会に、相談支援事業を開始しました。家族や本人からの一般的な相談も承っています。

➤ 震災後、いったん就労移行支援を廃止しましたが、企業が回復してきたので、昨年11月に再開でき就職者を出すことが出来ました。

2 作業状況の変化

震災後は企業が流されたり、仕事がなくなったりしましたが、今は新しい企業とのつながりが出来、新しい作業に取り組んでいます。

全国への発送体制が整い、商品を発送出来るようになりました。

大学生や一般のボランティアが継続的に来ていることで、元気が湧き起こります。

【現在取り組んでいる活動について教えてください】

- 1 一般就労出来るように就労訓練を重ねる。
(26年度は5人、本年度は2人が就職)
- 2 気仙地域の食材を活かした美味しい菓子を作る。
- 3 企業からの受託作業をすることによって障がいの理解を深める。
- 4 地域との交流(ホーム祭・ボランティア活動・芋煮会・訪問販売等)を進める。

【おすすめの商品を教えてください】

みんなで力を合わせて作っているお菓子はすべてお勧めですが、「北限のゆず」を使用した商品が特に人気です



北限のゆず
しほおんケーキ・クッキー、などなど



にこにこりんごケーキ



ゆず塩

【全国の仲間へ一言】

震災後、4月には少しずつ通所出来るようになりましたが、水が出ないし、材料も揃わなかったり、企業からの受託作業もなくなったりして困っていました。そんな時、全国から皆さんが支援に駆けつけて下さり、直後の支援だけでなく、地元に戻ってからもメールや手紙で励ましていただいたことは今でも忘れられません。また、商品が作れるようになってからは、注文をして下さったことにより作業が増え、利用者に工賃を支払うことが出来ました。本当にありがとうございました。

まもなく5年が経とうとしています。あの時なんとか頑張り続けられたのは、全国の皆様の温かさを感じ、元氣と笑顔が戻ったからだと思います。今後もホームページ等で私たちの活動状況と笑顔を見ていただければ幸いです。

事業所概要

- ・対象者：知的障がい・精神障がい・身体障がい・発達障がい・難病
- ・営業時間：8時半から17時半
(利用時間は9時から16時)
- ・対象地域：陸前高田市・大船渡市・住田町
- ・利用定員：就労継続支援B型 27名
就労移行支援 6名
- ・送迎：あり(無料)

住所：岩手県陸前高田市高田町字東和野 37-1

TEL：0192-55-2978 FAX：0192-53-1336

【今後の抱負をお願いします】

- 1 あすなろホームの主力作業である菓子製造の作業環境を改善するため、菓子工房を建設し、全国の皆様に美味しいお菓子をお届けしたい。
- 2 施設周りの環境(高台住宅・復興道路)がどんどん変化しているので、新しい地域の方々と交流出来るようになることを楽しみにしています。
- 3 障がいの有無に関わらず、誰でも気軽に立ち寄り一緒に話したり、作業したりできる開けた施設でありたいと思います。



施設長西條さんをはじめ、他のスタッフさん、利用者さんもみんな明るく笑顔で、お菓子やゆずの甘く優しい香りにつつまれた事業所です。地域でしか手に入らない商品もありますので、近くにいらした際はぜひお立ち寄りください！



♪全国の仲間から心温まるメッセージが届きました♪

☆神奈川県支部「神奈川県民」さま

最近、震災当時のことや、震災ボランティアに参加したときのことをよく思い出します。当時の衝撃やボランティアに参加して感じたこと。ずっと覚えておこうと思っていても日常的に覚えて置くことは難しかったです。でもまたこうやって思い出して、心が震えています。忘れられるわけではありません。

あれから時は過ぎ、当時よりボランティア者数は少なくなったのでは無いでしょうか、そんなことを考えていたら居ても立ってもいられなくなりました。また会いに行きます。

☞こちらチェック!!★【活動助成金】★

日本精神保健福祉士協会では都道府県精神保健福祉士協会等が実施する復興支援活動への経費の助成事業を行っています。

これまで様々な活動に活用され、被災地の力にもなっているものです！

本協会の東日本大震災復興支援情報サイト(下記URL参照)内の東日本大震災復興支援活動助成金交付要綱をご参照のうえ、ご応募をお待ちしております。

☆皆さんからのメッセージを募集します☆ 本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ホームページにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先は東日本大震災復興支援委員会へのFAXもしくはE-mailにてお願いいたします。

E-mail: office@japsw.or.jp * 題名に「PSWにゆうずについて」とご記入をお願いします。

第20号 2016年1月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL: <http://www.japsw.or.jp/> ★東日本大震災復興支援情報サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>